



牧野虎雄《朝顔》
1943年頃 60.6×45.5cm 油彩、カンヴァス 東京都現代美術館蔵



本多錦吉郎《静物》
37.1×49.6cm 油彩、カンヴァス 東京都現代美術館蔵



河野通勢《栞の葉》
1917年 25.8×34.0cm 水彩、紙 東京都現代美術館蔵



河野通勢《自画像2》
1917年 29.0×19.0cm インク、紙 東京都現代美術館蔵

同時開催 東京都現代美術館所蔵

近代の写実展

2017年11月17日[金]—2018年1月6日[土]

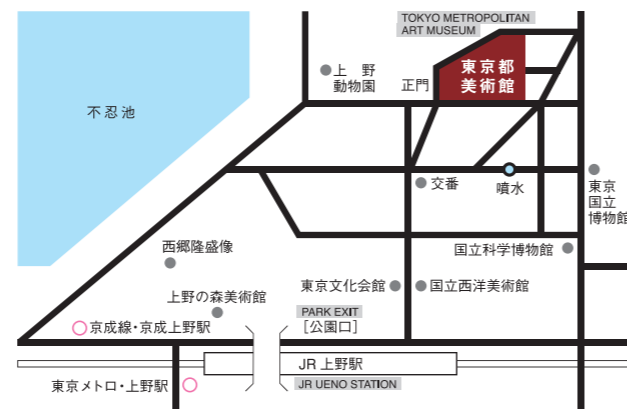
会場：東京都美術館 ギャラリーB / 開室時間：9時30分～17時30分(金曜日は20時まで)、入室は閉室の30分前まで

休室日：11月20日(月)、12月4日(月)、18日(月)、25日(月)、31日(日)、1月1日(月・祝) / 観覧料：無料

主催：東京都、東京都美術館 / 連携：東京都現代美術館

東京都現代美術館所蔵品から、明治、大正、昭和の写実的洋画を紹介します。明治洋画の先駆者、本多錦吉郎による精緻な油彩表現、大正期の洋画グループ「草土社」の一員だった河野通勢による細密な油彩とデッサン、さらに昭和前期の人々の暮らしと社会の様相をヒューマンズミに満ちたまなざしで描き出した池部鈞、そして穏健な写実による画風で知られる牧野虎雄など、明治、大正、昭和の美術と公募団体を支えた洋画家の作品を中心に展示して、写実絵画の近代を紹介する展覧会です。

Featuring realistic Western-style paintings of the Meiji, Taisho, and Showa periods from the collection of the Museum of Contemporary Art Tokyo (MOT). Minutely depicted oil paintings by Kinkichiro Honda, the Meiji-period pioneer of Western-style painting; finely rendered oils and drawings by Michisei Kono of the Taisho-period Western-style painting group, Sodoshia; richly humanistic depictions of Japanese society and people in the early Showa period by Hitoshi Ikebe and Tadashi Yoshii; and works of temperate realism by Torao Makino. These and other Western-style painters who propelled Japanese art and art groups during Meiji (1868-1912), Taisho (1912-26), and Showa (1926-89) will be presented in an exhibition of modern-period realistic painting.



交通のご案内
 ○JR上野駅公園口より徒歩7分
 ○東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩10分
 ○京成電鉄 京成上野駅より徒歩10分
 *駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮ください

 **東京都美術館**
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
http://www.tobikan.jp
TEL. 03-3823-6921



上野アーティストプロジェクト UENO ARTIST PROJECT

CONTEMPORARY REALISM

現代の写実 —映像を超えて— TRANSCENDING THE PHOTOGRAPH AND VIDEO

蛭田美保子《光来フラガンシア》(部分) 2016年 作家蔵

2017.11/17 [金] → 2018.1/6 [土]

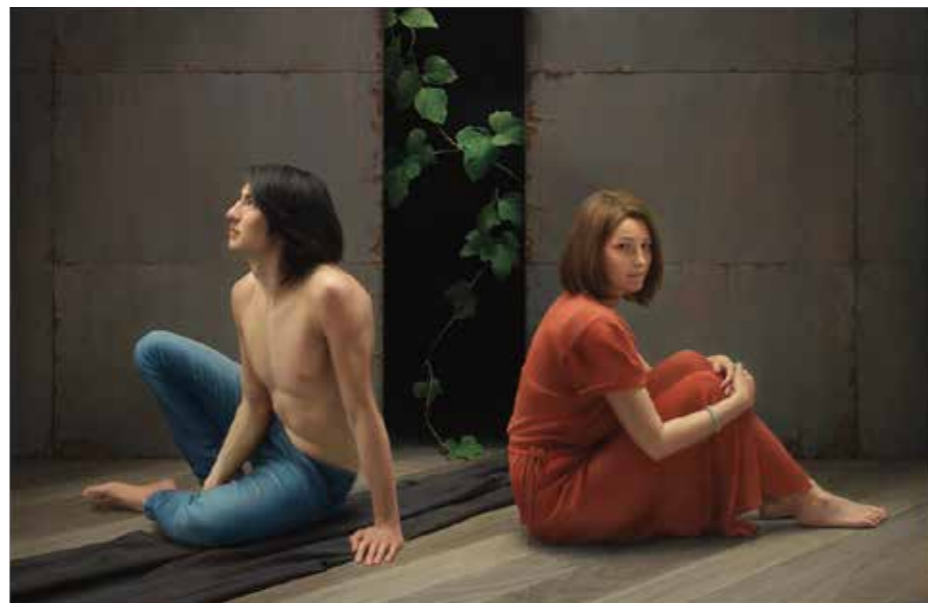
会場：東京都美術館 ギャラリーA・C
 開室時間：9時30分～17時30分(金曜日は20時まで)、入室は閉室の30分前まで
 休室日：11月20日(月)、12月4日(月)、18日(月)、25日(月)、31日(日)、1月1日(月・祝)
 主催：東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

 **東京都美術館**
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
http://www.tobikan.jp
TEL. 03-3823-6921

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 出品作家
ARTISTS | 女流画家協会
佐々木里加
SASAKI Rika |
| 二紀会 | 塩谷 亮
SHIOTANI Ryo |
| 日展 | 独立美術協会
橋本大輔
HASHIMOTO Daisuke |
| 日本美術院 | 新制作協会
蛭田美保子
HIRUTA Mihoko |
| 白日会 | 日本版画協会
元田久治
MOTODA Hisaharu |
| | 小森隼人
KOMORI Hayato |



小森隼人 KOMORI Hayato / 《青韻》2015年 80.3×54.7cm / 個人蔵



塩谷亮 SHIOTANI Ryo / 《草音》2017年 145.5×227.3cm / 個人蔵



佐々木里加 SASAKI Rika / 《BRAIN MUSEUM》2017年 162.2×130.3cm / 作家蔵



蛭田美保子 HIRUTA Mihoko / 《光来フラガンシア》2016年 259.0×194.0cm / 作家蔵



元田久治 MOTODA Hisaharu / 《Foresight-Tokyo Skytree》2017年 61.0×38.5cm / 作家蔵

現代の写実——映像を超えて



小田野尚之 ODANO Naoyuki / 《発電所跡》2013年 170.0×215.0cm / 作家蔵



橋本大輔 HASHIMOTO Daisuke / 《観測所》2016-2017年 197.0×291.0cm / 東京藝術大学蔵



岩田壮平 IWATA Sohey / 《flower》2015年 188.0×382.0cm / 個人蔵



稲垣考二 INAGAKI Koji / 《斜面(三面のうち)》2012年 425.0×340.0cm / 作家蔵

「公募展のふるさと」とも言われる東京都美術館は、様々な芸術家の作品発表の場として大きな役割を果たしてきました。その歴史の継承と発展のため、毎年テーマを決めて公募団体に活躍している現代作家を紹介する展覧会が「上野アーティストプロジェクト」です。美術と書を隔年を取り上げ、優れた現代作家を、若い世代を中心に、その年のテーマに沿って選定し、紹介します。

今年は美術を取り上げます。第1回展となる本展のテーマは「現代の写実—映像を超えて」。現代では、都市の中に氾濫する広告看板やディスプレイ、そしてテレビやスマートフォンなどを通して、映像情報がめまぐるしく飛び交っています。その中で、絵画でしかできない「現代の写実」を真摯に追究している9人の画家たちを紹介いたします。彼らは、それぞれのようなりアリティを表現しようとしているのでしょうか？

The Tokyo Metropolitan Art Museum — “the home of the public entry exhibition” — will launch the “Ueno Artist Project,” an exhibition series featuring contemporary artists who are currently active in art groups, under a fixed theme each time.

Part one of the series takes the theme, “Contemporary Realism — Transcending the Photograph and Video.” In today’s society, with its flood of video and photographic imagery and information from city billboards, big screens, televisions, and smart phones, the exhibition will feature 9 artists who are sincerely pursuing “contemporary realism” that is only possible in paintings.

観覧料(税込)	
一般	¥500
20名以上の団体	¥400
65歳以上	¥300
学生以下	無料(要証明)

※特別展「ゴッホ展 巡りゆく日本の夢」(会期:10月24日~1月8日)のチケット(半券可)の提示にて入場無料 ※11月18日(土)、19日(日)、12月16日(土)、17日(日)は、家族ふれあいの日により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住、2名まで)は一般当日料金の半額 ※12月20日(水)はシルバーデーにより、65歳以上の方は無料 ※身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添の方(1名)は無料。いずれも証明できるものをご持参ください ※都内の小学・中学・高校生ならびにこれらに準ずる者とその引率の教員が学校教育活動として観覧するときは無料(事前申請が必要)

展覧会関連事業

■アーティストトーク：出品作家が語る写実表現

[日時①] 11月25日(土) 14時~15時30分: 小森隼人、橋本大輔、元田久治
[日時②] 12月2日(土) 14時~15時30分: 塩谷亮、蛭田美保子、岩田壮平
[日時③] 12月16日(土) 14時~15時30分: 小田野尚之、佐々木里加、稲垣考二
[場 所] 本展覧会会場
※事前申込不要(ただし当日の観覧券が必要となります)。アーティストトークの作家は、都合により変更となることがあります。

■講演会：現代の写実(リアリズム)とは？

[日時/会場] 12月9日(土) 14時~15時30分 / 講堂
※当日13時より整理券を配布し、定員になり次第、受付を終了。開場は13時30分です。
[講師] 山村仁志(東京都美術館学芸担当課長)

■ギャラリー・トーク：現代の写実を見る

担当学芸員が「現代の写実」展をガイドします。
[日時①/場所] 11月24日(金) 18時~18時45分 / 本展覧会会場
[日時②/場所] 12月22日(金) 18時~18時45分 / 本展覧会会場
※事前申込不要(ただし当日の観覧券が必要となります)。

学校を対象としたプログラム

「現代の写実—映像を超えて」期間中の平日に、学校の教育活動に対応する鑑賞プログラムを行います。子どもたちが主体的に鑑賞ができるよう、事前に学校の先生と打ち合わせをし、当日は展示室で鑑賞活動を行います。2種類のプログラムから選択してお申し込みください。

■Museum Start あいうえの「あいうえの学校」平日開館コース

学芸員やアート・コミュニケータと共に展示作品を楽しみ、その後特製のツールを使ってミュージアム・ブック作りをします。プログラムの所要時間は1時間半から2時間程度。クラブ活動やクラス単位から受け付けます。参加を希望する学校は、「Museum Start あいうえの」のウェブサイトの応募フォームからお申し込みください。「あいうえの」もしくは <http://museum-start.jp> で検索。

■お気に入り発見ツアー

展示作品の前で担当学芸員の話聞き、その後、自分のお気に入りの作品を見つけます。所要時間1時間程度。希望の学校は展覧会ウェブサイト内「申込フォーム」よりお申し込みください。先着3校まで。
http://www.tobikan.jp/exhibition/2017_uenoartistproject.html